

電波時計

(置時計)

目 次

1. ご使用上のご注意	P.2
ご使用する上で守っていただきたいことが書いてあります。	
2. お手入れについて	P.3
3. 電波時計について	P.4
電波時計の特徴やお使いいただける環境が書いてあります。	
4. ご使用場所について	P.5
時計を設置していただくときの条件などが書いてあります。	
5. 各部の名称と役割について	P.6
各部の名称やその役割について書いてあります。	
6. 時計の使い方	P.7
電池を入れて受信するまでの手順が書いてあります。	
7. 電波を受信できない場合	P.8
電波を受信できないときの対処方法が書いてあります。	
8. 電池交換時期のお知らせ	P.9
9. 製品仕様	P.9
アフターサービスについて	P.20

1.ご使用上の注意

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。



禁止

この表示は、してはいけない「禁止」内容です。



警告

この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



強制

この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



注意

この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

誤飲による事故防止について



警告

小さな部品や小形の電池(ボタン形、コイン形および単4形、単5形など)は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

アルカリ電池について



警告

- 電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。
- ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池について

電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や時計周りを傷めることがあります。



注意

- + (プラス)、- (マイナス) を逆に入れないでください。
- 指定された電池を使用してください。
- 新しい電池と古い電池の混用や種類の異なる電池の混用はしないでください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、すべて新しい電池とお取りかえください。
- 電池交換時は、電池と時計の端子(接触部)の汚れを落としてから入れてください。



分解禁止

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。



注意

時計は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。
故障や破損の原因になります。

2. お手入れについて

長くご愛用いただくために、2～3年に一度の点検・調整（有料）をおすすめします。販売店にご相談ください。

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

3. 電波時計について

電波時計とは

正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

日本標準時をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

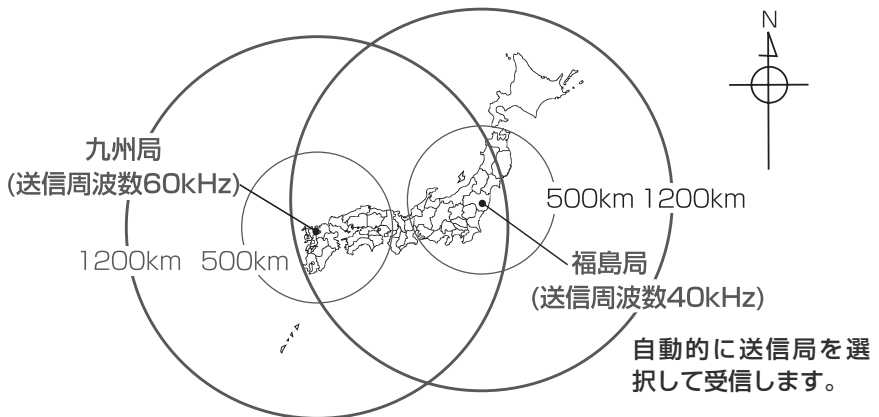
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所あります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(<http://jjy.nict.go.jp>)

受信可能な範囲

送信所からおおよそ約1200kmの範囲です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



○標準電波の送信が止まる場合があります

送信所の定期点検や落雷などにより送信が停止することがあります。詳しい情報は、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。

○海外でのご使用について

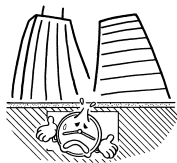
この時計は日本以外の国で送信されている標準電波を受信することができません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信して日本の標準時刻を表示したり、誤った時刻を表示することがありますので、電波受信スイッチを「OFF」にしてお使いください。

4. ご使用場所について

この時計は標準電波を受信することにより、時刻を修正しますので、電波の受信しやすい窓際などでお使いください。

電波を受信しにくい環境について

つぎのような場所では受信できない場合や誤った表示をすることがあります。



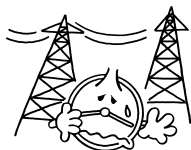
ビルの地下や大型ビルの奥まった部屋など電波の届きにくいところ



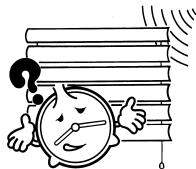
工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所



電化製品やOA機器の近く、またはスチール机等の金属製家具の上や近く



高圧線、テレビ塔、電車の架橋
近く



金属製の雨戸やブラインドの
近く



朝夕の時間帯、雨天のとき

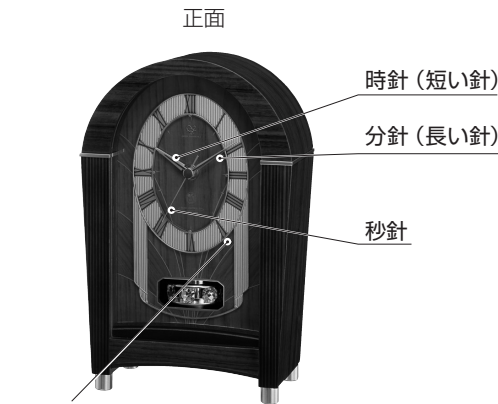
下記のような場所では使わないでください。

機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+ 50℃ (50 度) 以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が- 10℃ (氷点下 10 度) 以下になる所。(プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。)
- 浴室など、湿気の多い所。
- ほこりが多く発生する場所。(空気中のちり等が機械部にたまって、時計が止まる場合があります。)
- テレビ・OA 機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。(磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まる場合があります。)
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
- プラスチック製の時計の場合、軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

5. 各部の名称と役割について

●図は操作説明用ですので、実際の商品とは操作部の位置やデザインが異なることがあります。



明暗センサー

暗くなると明暗センサーが反応し、秒針を12時位置で止めます。昼間や夜間照明時でも明るさが不足するとセンサーが動きません。スリープモニターは、センサーが働いたときの状態を再現するものです。秒針が12時位置に近づいたら、スリープモニターボタンを押し続けてください。12時位置で秒針が停止します。ボタンを離すと早送りで現在時刻の位置に移動します。※明るいとこで秒針が12時位置に止まっているときは電池の交換時期です。「8.電池交換時期のお知らせ」(P.9)参照。

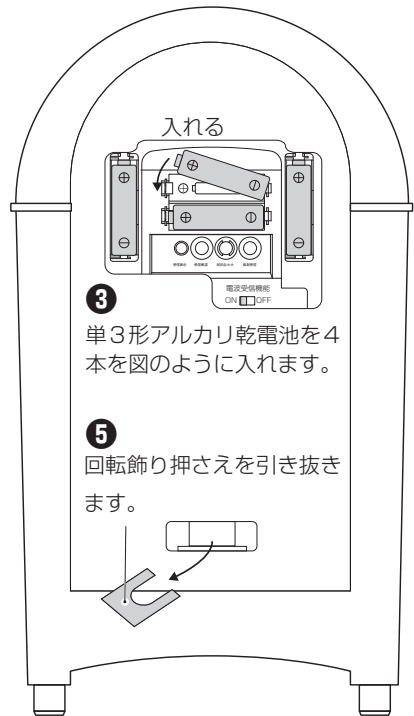
時針・分針の動きについて

自動修正：早送りまたは一時的に停止することもあります。
時刻表示：10秒単位に動きます。

秒針の動きについて

自動修正：早送り動き12時で停止することもあります。
時刻表示：なめらかな1秒ステップで動きます。

裏面
(裏ぶたを取った状態)



受信表示ランプ

受信の進行状態や受信結果をランプの点灯・点滅・消灯で知らせます。

受信確認ボタン

電波受信の結果を受信表示ランプで確認する時に押します。

受信確認ボタンを押すと

受信成功の場合：
受信表示ランプが点灯 (5秒間)

受信失敗の場合：
受信表示ランプが点滅 (5秒間)

時刻合わせボタン

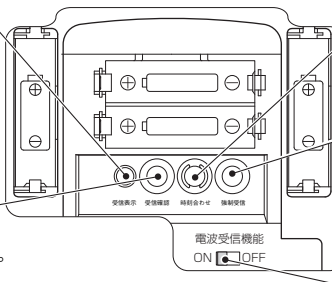
電波を受信できない時、手動で時刻合わせをする時に使用します。

強制受信ボタン

電池を入れた/場所を変えた/誤表示をした/受信確認ボタンを押して受信表示ランプが点滅した/いずれかに該当した時に押します。

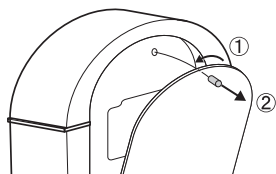
電波受信スイッチ

O N：電波を受信します。
O F F：電波を受信しません。



6. 時計の使い方

①



つまみを左に回して、手前に引きだします。

電池を入れて
強制受信ボタンを
押します

受信開始



電波読取中

1秒に1回点滅

受信終了



受信表示ランプが点滅しないで消灯したときは、標準電波を検出できませんので、設置場所を変えてください。

受信結果を確認

押す



受信確認ボタン

5秒間点灯



受信成功

5秒間点滅



受信失敗

①裏ぶたを取り外します

②電波受信スイッチをONにします

③電池を入れます

電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて、電池を入れます。

※電池を交換するときは、指定の新しい電池を使用してください。

④強制受信ボタンを押します

電波受信状態になります。

※針は止まったままですが故障ではありません。

※受信中はボタン操作をしないでください。

⑤電波受信の結果を確認します

受信には2～15分かかります。受信表示ランプが消灯し、針が動き出すまで待ち、受信確認ボタンを押します。

受信成功:5秒間点灯→正しい時刻

受信失敗:5秒間点滅→不正確な時刻

※まれに受信に成功してもノイズなどにより誤った表示をすることがあります。強制受信ボタンを押してください。

※受信に失敗した場合は「7.電波を受信できない場合」(P.8)をご覧ください。

⑤回転飾り押さえを引き抜きます

※輸送時などの振動から守るものです。輸送時は取り付けてください。

⑥裏ぶたを取り付けます

7. 電波を受信できない場合

電波の受信に失敗した場合は3通りの対処方法があります。

① 時計を電波の受信しやすいところに移動して設置

窓際など比較的電波を受信しやすいところで、送信所の地図 (P.4)を参考にして、時計の正面または裏面が送信所の方向に向くように設置し、強制受信ボタンを押して受信を試みてください。

② 翌朝まで待つ

一般的に、夜間は電波の受信がしやすくなりますので、翌朝まで様子を見ます。翌朝まで待っても受信できない場合は、設置場所を変える必要があります。

③ 時刻合わせをしてその場所で使用する

ベランダなど屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻合わせをしてからご使用ください。この場合、電波を受信できないため、時刻精度はクォーツ精度になります。

※電波受信スイッチを「ON」の状態、電波を受信しにくいところで使用すると、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

手動で時刻合わせをする方法

時刻合わせボタンを操作して任意の時刻に合わせることができます。

- ボタンを操作していないのに針が、早送り・停止している場合は、通常の動きになるのを待ってから操作してください。
- 電波受信スイッチが「ON」の状態、手動で時刻合わせをしても受信に成功すると時刻は自動的に日本標準時に修正されます。
- 手動で時刻合わせをすると時間精度はクォーツ精度になります。

時刻合わせボタンの操作

- 時刻合わせボタンを押してすぐ離すと1分進みます。
 - 時刻合わせボタンを押したときは、早送りが進みます。このとき秒針は12時位置になったときに停止し、ボタンを離すと秒を刻み始めます。
- ※ 秒針は時刻合わせボタンを押している間、“0秒”に設定されます。秒針が早送りで動いているときに時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで移動します。

8. 電池交換時期のお知らせ

電池の交換時期になりますと、明るいところでも秒針が 12 時位置で停止します。時針および分針はこのような状態になってから約 1 ヶ月間^{注)}時刻を表示し続けますが、時刻合わせボタンを押しても機能しなくなります。早めに電池を交換してください。

注) ご使用状態により、この期間は前後します。

※この時計はアルカリ乾電池の特性に合わせて設計されていますので、松下電池工業株式会社製「オキシライド乾電池」を使用しないでください。使用した場合、時計が正常に動かない、電池の寿命が短くなるなどの障害が発生することがあります。

9. 製品仕様

自動受信回数

条 件	受信回数
受信成功から 72 時間以内	最少 1 回/日 最多 3 回/日
連続 72 時間以上受信に失敗 始めから受信に失敗 手動で時刻合わせをした	12 回/日 (2 時間間隔)

時 間 精 度	標準電波の受信に成功している場合 (受信直後) 表示精度 秒針 ±1 秒以内 時針・分針 目盛に対して±3度以内 標準電波を受信できない場合 平均月差 ±20 秒以内 (常温中のクォーツ精度)
使 用 温 度 範 囲	-10~+50℃
使 用 電 池	単3形アルカリ乾電池 (JIS規格 LR6) 4 本
電 池 寿 命	約2年
そ の 他	<ul style="list-style-type: none">• 受信表示ランプによる受信成功/失敗表示• 電波受信ON/OFF切り替え• 明暗センサーによる秒針停止 (眠る秒針)• スリープモニター • 電池交換時期お知らせ機能• 回転飾り (時計と連動していません。)

※付属の電池は、工場出荷するときに入れてありますので、電池寿命が製品仕様より短い場合があります。

※電池寿命は電波の受信に成功して、1日7時間秒針が明暗センサーにより停止しているときものです。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

Radio Contralled Analog Clock

Thank you for purchasing this merchandize. Please refer to the instruction manual beforehand for proper usage of the clock. The manual should preferably be retained for any further reference.

Table of contents

	Page
1. Important safety instructions	11
2. Radio controlled clock	13
3. Names of components and their functions...	14
4. Quick set up instructions	15
5. Notice for battery change	16
6. ON/OFF alternation of radio wave reception	16
7. When radio wave reception fails	17
8. How to set the time manually.....	17
9. Light sensor.....	18
10. Sleep Monitor Button	18
11. Automatic radio wave reception	18
12. Specifications.....	19
13. After Sales Service and Support.....	20

1. Important safety instructions

The following warnings are intended to protect you and other individuals from injury or damage. Be sure to follow the instructions.

DESCRIPTION OF THE SYMBOLS

The following classes of symbols indicate the extent of injury or damage when precautions are ignored or there is improper usage.



CAUTION

This symbol indicates the danger of death or serious injury.



WARNING

This symbol indicates the possibilities of injury or material damages only.



PROHIBITED

This symbol indicates a "prohibited" action.



COMPULSORY

This symbol indicates a "compulsory" action that must be performed.

PREVENTION OF ACCIDENTAL INGESTION OF ACCESSORIES



CAUTION

Keep out of reach from infants all accessories (metal hooks, screws, etc.) and small-size batteries. If such accessories are swallowed, immediately consult a doctor for the necessary treatment.

BATTERIES

If the batteries are not used properly, there is the risk of bodily injury or damage to the clock and its surroundings due to heating.



WARNING

- Do not insert the plus (+) and minus (-) ends of the battery in reverse.
- Do not install a combination of used and new batteries. Do not mix different types of batteries.
- Use the batteries specified by the manufacturer.
- Remove all worn out batteries as soon as possible.
- Remove the batteries from the clock if the clock will not be used for a long time.
- When changing the batteries, please replace with all new batteries.
- When changing the batteries, please clean the both ends of the batteries and the terminals (+ and - contact points) of the clock.

ALKALINE BATTERIES



CAUTION

- If liquid leaked from a battery permeates the eye, rinse the eye immediately and consult a doctor for the necessary treatment. There is a risk of losing eyesight. Also, if the liquid adheres to the skin or clothes, rinse with water.
- Do not short circuit, disassemble, heat or expose to fire. These actions may result in the leakage of liquid, heating or explosion.

DO NOT DISASSEMBLE



NOT DISASSEMBLE

- Do not disassemble or modify since malfunction may result.

THE CAUTION ON HANDLING



- Clocks are precision instruments. Certain parts, such as glass made components, are vulnerable to shocks. Avoid dropping or shock. It may cause malfunction or damage. Risk of injury or materialistic damage is possible when damaged.

PROPER LOCATIONS FOR USE

Please avoid usage in the following locations as the quality of the mechanism, case or battery will deteriorate, causing a decrease in clock accuracy and shortened clock and battery life.



- Locations where the temperature exceeds +50°C (for example, extended exposure to sunlight).
- Locations near heating or other apparatus where hot blasts or flames exist.
- Locations where the temperature is lower than -10°C. (The quality of plastic components and batteries will deteriorate.)
- Locations where there is heavy dust accumulation. (The clock may cease operation due to the accumulation of airborne dust on mechanical parts.)
- Locations where a strong magnetic field exists, such as in the proximity of television sets, office automation equipment, audio apparatus, etc. (Magnetic forces may cause to clock to accelerate, decelerate or stop.)
- Locations where strong vibrations exist such as in a train, in a vessel or at a construction work site.
- Locations where there is high humidity such in a bathroom.
- Locations where gas exists such as at the site of a hot spring.
- Locations where large quantities of oil are used. (Oil in the form of mist will adhere to moving parts, straining or causing the clock to stop.)

PROPER CARE AND MAINTENANCE

- For a long time usage of the clock, proper inspection and maintenance is recommended once every two or three years. (Charged) Consult with the shop of purchase.
- If dirty, use a soft cloth to wipe the clock using neutral detergent or soapsuds. Dry with a dry cloth afterwards.
- Avoid using benzene, paint thinner, alcohol, or aerosol cleaners to clean the case.
- Wall surface may become dirty due to the static electricity of the clock, when hung on the wall. A regular cleaning is recommended.

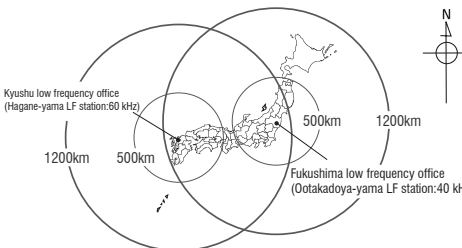
2. Radio controlled clock

What is the Radio controlled clock?

The radio controlled clock receives standard radio wave transmissions that contain accurate time and calendar information. Based on that information, the radio controlled clock automatically adjusts its display to the correct time. The time information transmitted through standard c wave is based on “cesium atomic clock” which only shows one second of error in approximately 100 thousand years. Standard radio waves are transmitted from two locations: Fukushima low frequency office(Ootakadoya-yama LF station:40 kHz) and Kyushu low frequency office(Hagane-yama LF station:60 kHz).

This clock is only compatible with Japanese standard time radio waves. The clock automatically selects and receives radio waves broadcast from either the Fukushima low frequency office or Kyushu low frequency office.

Receiving Areas of the Radio Waves



Under favorable conditions, it is possible to receive radio waves at distances up to 1,200 km from a broadcast station. Even when within range, however, radio wave interference may cause reception to fail or be faulty.

Conditions that obstruct reception or cause false reception

Even when within range, radio wave reception may fail due to conditions related to the location or orientation of the clock, topographical features, building structures, etc. Moreover, if noise causes erroneous reception, the clock may display the incorrect time.

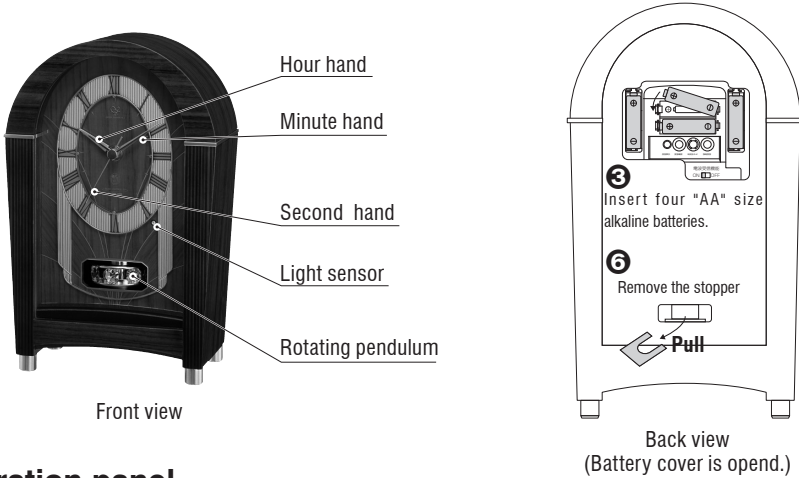
- Areas where it is difficult for radio waves to penetrate, such as in building basements or in secluded rooms inside large buildings
- Near high-voltage cables, TV towers or train bridges
- Near metal shutters or window blinds
- Near electric appliances or office equipment, or on top of or near metal office furniture such as steel desks
- Places where radio waves are obstructed, such as construction sites, airports or busy traffic sites, etc.
- In the morning and evening, or on a rainy day

❓ **Can the clock be used outside Japan?**

This clock can only receive Japan Standard Radio Wave. If used overseas, the clock may seldom catch the Japan standard radio wave, resulting in adjusting itself to the Japanese standard time or to incorrectly receive the radio waves. Please adjust time manually after stopping the reception function of a clock.

3. Names of components and their functions

Actual designs and details of the clock may be different from the diagrams.



Operation panel

Receiving indication lamp

Flashing and illuminating of the lamp shows status or result of receiving radio waves.

Receiving check button

Verify the status of radio waves.
 Reception is successful:
 receiving indication lamp illuminates (5 sec.)
 Reception failure:
 receiving indication lamp flashes (5 sec.)

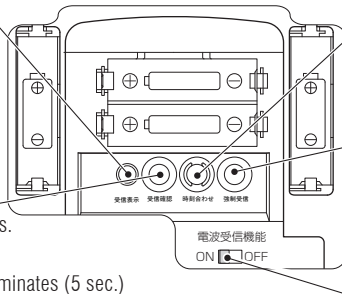
Time setting button

When radio waves can not be received, time can be adjusted by manual operation.

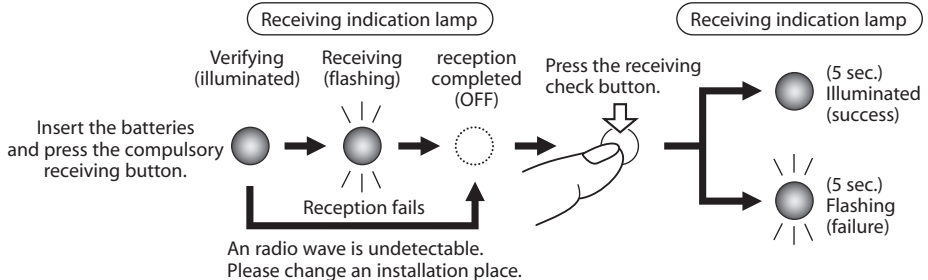
Compulsory receiving button

Press the compulsory receiving button when the location is changed, the display is incorrect, or when replacing the batteries.

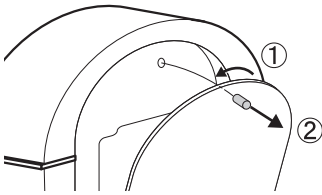
Radio wave reception switch



Process of receiving radio waves



4. Quick Set up instructions



① Turn ON radio wave reception switch.

② Remove the battery cover

Remove the battery cover on the rear of the clock. Turn around the knob counterclockwise, then pull the knob to remove the cover.

Turn the knob counterclockwise, **③ Insert the batteries**
then pull it to your side.

Insert four “AA” size alkaline batteries into the battery holders.

Press the compulsory receiving button and reception of radio waves will start. Receiving indication lamp will turned on.

※ During reception, the hands will stop moving, but this is not a malfunction.

※ If the battery polarity (+) (-) is reversed, the clock will not operate.

※ When replacing the batteries, please use the same kinds of new ones.

④ Wait 2 to 15 minutes

After the receiving indication lamp turns off, wait until the hands start moving.

※ While waiting (or during reception), do not operate any buttons.

⑤ Check the reception status

If reception was successful:

The receiving indication lamp will illuminate for 5 seconds when the receiving check button is pressed. This completes the operation.

If reception failed:

The receiving indication lamp will flash for 5 seconds when the receiving check button is pressed. In this case, please refer to “7. When radio waves reception fails”.

⑥ Remove the stopper

⑦ Attach the battery cover

Movement of hour hand and minute hand

Time correction: Hands turn clockwise in fast movement.

Regular movement: Moves every 10 seconds.

Movement of second hand

Time correction: Hand turns clockwise in fast movement, and may stop at 12.

Regular movement : Moves step by step every second.

•When the surrounding environment becomes dark, the second hand stops moving.

•When battery changing is required, the second hand stops at 12 o'clock point even in the bright areas.

5. ON/OFF alternation of radio wave reception

In cases where the reception fails or is faulty, or when it is desired to intentionally change the time display, set the radio wave reception switch to the OFF position. The clock will then keep time with quartz precision.

- The clock operates with quartz precision to display the time. Even if radio waves are received, the time will not be updated.
- When size AA alkaline dry-cell batteries are installed or the forced reception button is pressed, the Receiving indication lamp will become illuminated and the hour, minute and second hands will rotate rapidly, similar to the case when the radio wave reception switch is in the ON position. However the clock time will be displayed without performing radio wave reception.

6. Notice for battery change

When batteries need to be changed, the second hand stops at the top and ceases to show the display by the radio wave reception lamp. Minute and Hour hands will still display the correct time for about a month after the second hand stops, but in order to avoid malfunction and stain to wall and furniture caused by the battery liquid, changing the batteries at an early stage is recommended.

Using four unused batteries specified, refer to '2.Quick Set up instructions' section (page 15).

*This period alters due to the condition of usage and the surroundings.

- This clock is made to match the Alkaline battery function. Do not use 'Oxyride dry-cell battery ' produced by the Matsushita Battery Industrial Co.,Ltd. In case of usage, the clock may not function properly or the battery life may be shorter than usual.

7. Light sensor

The clock is provided with a sensor to detect brightness around the clock. Then, the advancing of the second hand will be stopped. Since the sensor operates depending on the brightness, it may automatically operate even during daytime or under dim lighting.

When the sensor judges that it is dark,

- The second hand will stop at the 12:00 position. When it becomes bright again, the second hand will move rapidly to indicate the correct time.

8. When radio wave reception fails

① Move the clock to a different location .

Place the clock near a window, or turn the clock so that its front or the back faces the radio wave transmitting stations. (See the map of Japan in this manual.) Press the compulsory receiving button. Refer to "4. Quick Set up instructions' section."

② Wait until the next morning .

The transmission condition for the radio wave is better at night. Waiting until the next morning may allow the clock to receive the radio wave. Set the time manually and check the result after one or two days.

③ Set the time manually.

Following "How to set the time manually " section, you can set the time manually. The clock will move by the quartz time keeping system. When the clock is used under unfavorable location for the radio wave reception, it may show a wrong time. In such a case, turn off the radio wave reception function.

9. How to set the time manually

By operating the time setting button, time setting is manually possible. In this case, the accuracy depends on the quartz time keeping system.

- If the clock hands move fast or is at a standstill when you have not touched the button, wait until they move at a normal speed before starting the setting.
- If the radio wave reception function is ON, the clock time even after being set manually will automatically be corrected to Japan standard time when radio waves are received successfully.

How to use the time setting button

- Pressing and quickly releasing the time setting button causes the time to advance by one minute.
- Pressing and holding down the time setting button causes the hands to rotate rapidly. The second hand will stop at the 12:00 position.
- While the time setting button is held down, the second hand is set to "0" seconds. If the time setting button is released while the second hand is rotating rapidly, the second hand will continue to rotate rapidly until it reaches the seconds position of the current time, whereupon it will move in steps of 1-second increments.

10. Automatic radio wave reception

Trials for automatic reception differs depending on the below conditions.

Conditions	Reception Time
Within 72 hours after a successful radio wave reception	min. 1 time /day max. 3times/day
Reception failure for a continuous 72 hours or more.	
Failure at the beginning Time set manually	12times/day (every 2 hours)

11. Specifications

Accuracy of time:

Under successful radio wave reception

Second hand plus and minus 1 second

Minute hand , Hour hand 3 degrees per mark

When not receiving Japan standard radio wave or when reception button is turned OFF

Average monthly deviation plus and minus 20 seconds (under quartz time and normal temperature)

Battery used Four 1.5V "AA" size alkaline batteries (JIS LR6)

Practical battery life Approximately 2 year

Other

- Radion wave reception switch
- Receiving indication lamp • Light sensor
- Battery change signal function
- Rotating pendulum

• Battery life may be shorter than that described in the specification, since they are supplied at the time of factory shipment.

• Specifications are subject to change without notice.

12. After Sales Service and Support

After sales service is provided by the stores of purchase. Please read the following condition and clock warranty carefully.

•Availability of repair parts

We will continue to carry functional repair parts (electronic circuits, gear, etc.) for this clock for a period of seven years after production is discontinued. For the repair of exterior parts (case, dial, etc.), similar parts may be substituted.

•Repair Period

After the free warranty period, the clock can be repaired for a fee during the period while repair parts are still available. For repairs, shipping charges to and from the repair shop and other expenses will be charged to the customer. In some cases, the repair charge may be costly. So, please consult with the store.

•Change of address or gift cases

When service is not available at the store of purchase due to change of address or in case of receiving the clock as a gift, contact the customers' service department.

*A written warranty is necessary for a free repair within the warranty period.

(The above conditions apply only in Japan.)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

この時計の修理用性能部品（電子回路・歯車等）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース・文字板等）の修理には、類似の代替品を使用させていただくこともあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合

転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのおアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。（保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。）

お問い合わせについて

お問い合わせの際は、時計裏面などに表示してあります製品番号をお伝えください。（例 4RY 〇〇〇）

お客様相談室 フリーダイヤル 0120-557-005

受付時間 9:00～17:45（土日、祝日および当社休日を除く）

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12

<http://www.rhythm.co.jp>

(Y0607)

R134-QXEY